

日本各地の河川・港湾における プラスチックの浮遊状況調査

活動地域  関東、関西、中部、北陸、九州



プラスチック採取の様子

課題

マイクロプラスチックの流出は重要な問題だが、流出経路や流出しやすい製品・用途等が明らかでなく、対策を検討するにあたって、どこから手をつけて良いのか分からない。

目標

海洋に流出するマイクロプラスチックの「流出経路」「用途(製品や使用目的)」が明らかになり、解決すべき問題が絞り込まれ、具体的な対策が立てられるようになる。



今後の展望

2020年度中に、水底の調査も含めた広範囲の調査実施体制を構築し、国内外300地点で調査を実施する。流出プラスチックの用途特定範囲拡大、流出源探索、社会認知向上、問題解決施策の開発を進める。

はじめる助成

1年目

調査研究

活動内容と成果

国内の100か所(関東43、関西15、中部11、北陸11、九州10、沖縄10)でマイクロプラスチックを採取・分析し、用途や流出経路の特定に取り組んだ。

人工芝(グラウンドから流出)、コーティング肥料(水田から流出)、シート類やロープ類(建築現場等から流出)を明らかにした。

結果はホームページでオープンデータとして公開。記者向け報告会を実施し10以上のテレビや新聞で取り上げられた。

自民党・海洋プラスチック対策推進議員連盟、国連環境計画など複数の政策提言機会を得た。



プラスチック分析の様子

マイクロプラスチック
調査箇所数 **100** か所

判明した主要な
流出経路の数 **3**

今年度計画の達成度 **100%**

目標達成度 **100%**

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

2,000個以上の微細なプラスチック片の色・成分・形状などの情報から用途を推定するのに大変な労力と時間を割いた。

■ 工夫した点

株式会社ピリカと共同でプラスチック片の分析プログラムを開発するなど、様々なプロセスを自動化・効率化した。

〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿1-7-2
エビスオークビル2, 41号室
E-mail : info@pirika.org
HP : <https://corp.pirika.org/>

